

平成25年度第1回公立大学法人秋田県立大学経営協議会
議事要旨

1 日時：平成25年6月25日（木） 15：30～17：00

2 会場：ホテルメトロポリタン秋田 3階「こまち」

3 出席者

（委員）

石田委員、郷委員、吉村委員、渡邊委員

小間理事長、野田副理事長、小林理事、小嶋理事、青木理事

（監事）

吉崎監事、前田監事

（事務局）

長谷部次長、佐藤芳TL、高橋TL、細山TL、木村TL、佐藤（義）TL、
佐藤浩SS、福田職員、佐藤（寧）TL、藤田SS、飯塚職員

4 議事

定款の定めにより理事長を議長として会議が開催された。

(1) 定款に基づき経営協議会の議を経る必要のある事項について

- 1) 平成24年度業務実績報告書
- 2) 平成24年度決算報告
- 3) 平成24年度目的積立金執行状況
- 4) 主な規程の改正
- 5) 事務職員の採用計画

1)～5)について審議した。

ここまできを踏まえ、次のような意見があった。

- 他大学は、運営費交付金の減額により厳しい状況にある。県大は、学生数に比して教員数が多いなど、恵まれた点がある。
- 年俸制を採用していても、公務員の給与削減等により、影響を受ける場面が出てくる恐れがある。
- 支出総額に占める人件費の割合について質疑があった。
- H24年度の出願者数が、H23年度比+約500名の理由について質疑があった。

(2) 平成24年度第3回経営協議会（H25.3.27）以降の学内外情勢について

- 1) 教職員の状況
- 2) 平成25年度内部監査計画
- 3) 卒業生・修了生の進路（就職・進学）状況（教育本部）

- 4) 平成24年度外部資金の受入実績及び平成25年度受入見込
(研究・地域貢献本部)
- 5) 平成25年度入学者(学部・大学院)選抜状況(教育本部)
- 6) 生物資源科学部の客員教授招聘(総務本部)
- 7) 大学間協定(研究・地域貢献本部)
 - 1) 清華大学深圳大学院
 - 2) 西南交通大学
- 8) 秋田県教育委員会との連携協力協定(教育本部)
- 9) 繰越積立金による教育研究機器整備(企画・広報本部)
 - 1) ~9) について報告を受けた。

ここまですを踏まえ、次のような意見があった。

- 県内出身学生30%確保の理由について質疑があったうえで、県内出身学生30%、国際交流の推進、女子学生割合の増加等、すべてを目指していくのは、大変なこと。
- 大学院の女子生徒が少ないのだから、必然的に女性教員も少ない。女子生徒が目標とする女性教員が必要。そのためにも、日本国内で、女性教員が働きやすい環境がなければならない。
- 任期制と、改正労働契約法の絡みをどのようにするかとの質疑があった。
- 経済界の県大に対する評価は高い。
- 決算書を見ると、安定的な大学運営のためには、県大の内部留保額はもっと多くしていく必要があるのではないか。
- 国際交流はもっと盛んにやった方が良い。

5 意見交換

学長から、国際交流の推進について、本学の取組方針について、意見をいただきたい旨の説明があり、次のような意見が出された。

- 外国人留学生は増やすべき。留学生用の宿舎は、民間の施設を利用し、宿泊費用を補助すれば、新しい施設を作る必要はない。
- 大切なのは、語学力よりも、話したい中身を学生が持っていること。
- 簡単にできるものではなく、丁寧なリードが必要である。

以上